

Q 13 人口密度の低い地域)での30万人規模の広域化は有効なのでしょうか。

	宗谷支庁	長崎県
面積	4,050.76 km ²	4,095.22 km ²
人口	75,665人	1,478,632人

	留萌支庁	滋賀県
面積	4,019.91 km ²	4,017.36km ²
人口	61,631人	1,380,361人

	石狩支庁	鳥取県
面積	3,539.86 km ²	3,507.26 km ²
人口	2,307,930 人	607,012人

	後志支庁	富山県
面積	4,305.7km ²	4,247.40km ²
人口	248,251人	1,111,729人

	胆振支庁	奈良県
面積	3,698km ²	3,691.09km ²
人口	426,639人	1,421,310人



	釧路支庁	三重県
面積	5,997.34 km ²	5,776.87km ²
人口	267,961人	1,866,963人

空知支庁	栃木県
6,558.22km ²	6,408.28km ²
386,657人	2,016,631人

日高支庁	和歌山県
4,811.91km ²	4,726.12km ²
81,407人	1,035,969人

	網走支庁	岐阜県	上川支庁	青森県	檜山支庁	佐賀県
面積	10,690km ²	10,621.1 km ²	9,852km ²	9,607.04km ²	2,630km ²	2,439.58 km ²
人口	324,849人	2,107,226人	535,456人	1,436,657人	47,998人	866,369人

	根室支庁	広島県	十勝支庁	秋田県	渡島支庁	埼玉県
面積	8,534km ²	8,478.52 km ²	10,831.24 km ²	11,612.22 km ²	3,936km ²	3,797.25 km ²
人口	84,057人	2,876,642人	358,313人	1,145,510人	449,435人	7,054,243人

上記資料は、北海道内の支庁別の面積に相応した各県の人口を比較したものです。宗谷支庁と留萌支庁を合わせても人口は13万7千人。その広さは8,000 km²にも及び、長崎県と滋賀県を合わせた広さですが、人口では1/20しかありません。北海道内の各支庁の人口密度は、各県とは比較にならない数字になっています。

総務省消防庁が主導する管轄人口30万人規模の消防本部を考えた場合、北海道内では、管内面積が10,000 km²を超え、直線距離で200 km以上の消防本部がいくつか出現することが想定されます。函館・札幌・旭川・帯広・釧路の主要都市を中心とした周辺の市町村がかろうじて30万人の広域圏を形成できますが、これらの圏域の面積もまた広大なのです。これらの事例は、北海道に限らず、全国の主要な都市部以外の地域でも同様の状況だと思われれます。

この様な現状の中で、総務省消防庁の挙げる広域再編のメリット、規模の拡大によるスケールメリットが得られるのかどうか甚だ疑問です。

人口密度が極端に低く、財政基盤も弱い自治体にとって、広域化よりも、地域住民との共同や、地域に潜在する能力を引き出し、活用を図るといった方策を、検討した方が得策かもしれません。たとえば、「役場職員との業務連携・協働」（役場窓口業務を一部を消防職場に移管し、代わりに役場消防隊等の設置・役場職員の団員化、地域住民の自主防災能力の向上、消防団・自主防災組織の災害対応能力の向上等）を積極的に提案し、地域の事情に見合った消防力強化に力を傾注することも必要かと考えています。

（資料：県の人口は総務省「平成17年国勢調査」。支庁の人口は2007年北海道の資料による）

